

マーク概要
☎=対象(特記ない場合、どなたでも) 日=日時・日程 会=会場 講=講師 費=費用(特記ない場合、無料)
他=ほかの情報(「保育可」は生後5か月以上で首がすわっている子~未就学児が対象) 申=申込方法(特記ない場合、発行日時時点で申込可) 問=問合せ先 区HPQ 00000=区のホームページの検索メニュー ページIDから探すへ
番号入力でページを表示 せ=要件を満たすとせたがやPayのポイントがもらえます



区の手続きや施設・イベント案内は **せたがやコール** (午前8時~午後9時 年中無休)
☎03-5432-3333 FAX 03-5432-3100 ●問合せフォーム 区HPQ 8436

1面からの続き **世田谷区ゆかりの主な選手**

Q&A **岡田選手に聞いてみた!**

- Q1 東京2025デフリンピックの見どころは?**
競技中の合図やスタートは音の代わりに光や旗を使用します。また、国際交流を通して、互いの文化や価値観に触れることが、インクルーシブな社会の実現につながると期待しています。
- Q2 デフリンピックでの目標を教えてください**
800m、1500m、女子4×400mリレーの3種目に出場します。個人種目である800mと1500mでは金メダルの獲得を目標としています。
- Q3 デフリンピックを通じて、他の聴覚障害者に伝えたいメッセージはありますか?**
同じ聴覚障害を持つ方々に「チャレンジすること」と「あきらめないこと」の大切さを伝えたいです。



おかだ みお 選手
岡田 海緒 選手

1997年東京都生まれ、日本女子体育大学卒業、三菱UFJリサーチ&コンサルティング所属。
デフ陸上女子800m・1500m・1マイル日本記録保持者。

生まれつき耳がきこえず、高校までろう学校に通う。幼いころから走るのが好きで、高校で陸上部に入部し、本格的に陸上を始める。

画像提供：(一社)日本デフ陸上競技協会



あらかい 選手
荒谷 太智 選手

種目：陸上男子4×400mリレー、男女混合4×400mリレー、男子100m(サブメンバー)

意気込み

初のデフリンピック出場となりますが、メダル獲得を目指して頑張ります。



やまだ ひろき 選手
山田 洋貴 選手

種目：バスケットボール

意気込み

メダル獲得を目標に、まずは予選突破、そして初のベスト8を目指します。



つむらい 選手
津村 開 選手

種目：ハンドボール

意気込み

情熱を持ってガッツのあるプレーをして、チームを鼓舞していきたいです。

サインエールで 応援しよう!

~きこえなくても応援は届けられる~

サインエールは、手話をベースにした“見える”応援スタイルです。

両手をヒラヒラさせる



「拍手」の手話

行け!(Go!)



「がんばれ」の日本の手話をベースにした動き

両手を前に出す!



令和7年第3回区議会定例会(9月16日開催) 区長招集挨拶(要旨)

●平和事業

この夏は、世田谷区にとって、昭和60年8月15日に行った「平和都市宣言」から40周年、そしてせたがや未来の平和館が世田谷公園の地に移設開館してから10周年という節目になります。この間、平和の尊さを改めて考える機会として、様々な記念事業を実施しました。また、8月7日から長崎市で開かれた「第11回平和首長会議 被爆80周年記念総会」に出席し、世田谷区の平和事業について紹介するとともに、UNHCRの呼びかけるグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」への参加自治体として活動報告をしました。引き続き、区民とともに、平和の灯火を掲げる活動を続け、行動していきます。

●マンション防災共助促進事業の

受付状況・再募集

6月16日から、「マンション防災共助促進事業」の申込受付を開始しましたが、当初の予想を上回る多くのお申込をいただき、受付を1日あまりで終了することになりました。そこで、9月18日から10月17日まで申込を受け付けることとし、新たに1000棟分の追加募

集を実施します。在宅避難のさらなる推進、マンション居住者の防災意識の向上を目指し取り組んでいきます。

●デジタル地域通貨「せたがやPay」

食料品価格等の物価高騰の影響を受ける区民や事業者を支援するため、7月1日から1か月間、せたがやPayによる最大15%ポイント還元事業を実施しました。7月の1か月間で、約2.5億円のポイント還元に対し、約19億円の決済が区内で行われ、10万人以上の方にせたがやPayをご利用いただくことができました。

●保育の定員確保の取組み

7年4月入園において、1・2歳児で合計47人の保育待機児童が生じました。こうした状況を受け、区では保育待機児童が生じている1・2歳児について、8年4月入園に向けて、砧地域に1園、烏山地域に1園の私立認可保育園分園をさらに追加し整備していくこととしました。加えて、8年4月からは、区が定員確保の要請を行った施設に対して、定員が埋まらなかった場合に、その欠員分を補償する制度を新たに導入します。引き続き施設を

サポートし、保育待機児童解消に向けて、保育の質と量の両輪を重視しながら、今後も保育定員の確保に全力で取り組んでいきます。

●終活支援

区では、世田谷区社会福祉協議会に成年後見センター事業を委託しています。成年後見センターでは、相続や遺言などに関する「あんしん法律相談」や若い支度講座、終活講座やエンディングノートの配布による普及啓発を実施していますが、終活に関わる多様な相談ニーズに対しては、総括する窓口がありませんでした。こうした相談ニーズに対応するため、現在、区では、新たに「(仮称)終活支援センター」を開設することを検討しています。全ての区民が人生の最後まで安心して、尊厳をもって生活できる社会を実現するため、取り組んでいきます。

※挨拶の全文は、[区HPQ 28088](#) でご覧になれます。また、区議会会議録(11月中旬発行予定)は、区政情報センター、総合支所区政情報コーナー、図書館等でご覧になれます。